

平成21年5月期 第1四半期決算短信

平成20年10月6日

上場会社名 アウンコンサルティング株式会社
 コード番号 2459 URL <http://www.auncon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 信太 明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 坂田 崇典
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月14日

上場取引所 東

TEL 03-3239-2727

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年5月期第1四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成20年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	1,262	—	94	—	99	—	62	—
20年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年5月期第1四半期	867.86		831.84	
20年5月期第1四半期	—		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年5月期第1四半期	2,670		1,938		72.1	26,766.96		
20年5月期	2,558		1,939		75.7	26,926.76		

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 1,926百万円 20年5月期 1,936百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
21年5月期	—	—	—	—	—
21年5月期(予想)	—	0.00	—	900.00	900.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	2,501	—	214	—	215	—	127	—	1,770.75	
通期	5,063	—	603	—	604	—	349	—	4,866.91	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

株式会社アート・スタジオ・サンライフ
 新規 2社(社名 国際広告制作株式会社(株式会社アート・スタジオ・サンライフ子会社) 除外 1社(社名)

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年5月期第1四半期 71,968株 20年5月期 71,908株
 ② 期末自己株式数 21年5月期第1四半期 1株 20年5月期 1株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年5月期第1四半期 71,923株 20年5月期第1四半期 1株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】1. 連結経営成績に関する定性的情報をご参照ください。また、通期予想の対前期比(%)につきましては、前期は第4四半期から連結財務諸表を作成しておりますため、記載を省略しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成20年6月1日～平成20年8月31日）におけるわが国経済は、米国に端を發するサブプライムローン問題が米国金融市場の一層の混乱へと発展したことや商品先物市場が主導した世界的な物価上昇の影響がわが国株式市場に波及し、景気が足踏み状態を続けるなど急速に不透明感を増してきております。

当社グループの主たる事業を取り巻くインターネット広告市場は、引き続き堅調に推移したものの、一方で業種によっては、企業業績が下振れした影響から投資マインドが消極的になるなどの変化が見られました。

このような状況の中、当社グループは従来からの検索エンジンマーケティング（SEM）によるコンサルティングサービスを提供することに加え、顧客のマーケティング支援ニーズをより一層広範に取り込んでいくため、平成20年6月30日には株式会社アート・スタジオ・サンライフの株式を取得し、当第1四半期連結会計期間末では、発行済株式の80.48%を所有しております。

同社株式取得により、新たに企業のWebサイトや製品パンフレット等の紙媒体制作（グラフィック）を通じたマーケティング支援サービスを、英語・中国語・日本語など多言語により提供することとなりました。

検索エンジンマーケティング（SEM）のサービスに加えて、新たにWebサイトおよび紙媒体のクリエイティブ制作をラインナップ化したことで、英語・中国語・日本語などによる多言語でのマーケティング支援ニーズに関するコンサルティング事業の体制が整備されたこととなります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間におきましては、売上高は1,262百万円、営業利益は94百万円、経常利益は99百万円、四半期純利益は62百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りです。

＜SEM事業＞

検索エンジン最適化（SEO）は、認知度向上によって引き続き売上は好調に推移いたしました。検索連動型広告・コンテンツ連動型広告（P4P）については、価格競争が一層激しさを増しておりますが、当社グループでは一定の利益率を確保できる案件に集中したことから減収となりました。

この結果、当事業の売上高は1,168百万円、営業利益は79百万円となりました。

＜クリエイティブ事業＞

Webサイト制作においては、大手企業を中心に企業サイトおよび新製品サイトの新規構築案件を堅実に受注してまいりました。紙媒体制作（グラフィック）においては、紙媒体単独での受注以外に、新製品発表の際にWebサイトと同時にカタログ等の制作を受注しております。英語・中国語・日本語によるサービス提供の強みを活かし、堅調な受注を確保することができました。

この結果、当事業の売上高は93百万円、営業利益は14百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5%増加し、1,690百万円となりました。これは、主に棚卸資産36百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3%増加し、979百万円となりました。これは、主に敷金及び保証金11百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度に比べて4%増加し、2,670百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9%増加し、672百万円となりました。これは、主に短期借入金44百万円の増加によるものであります。

固定負債は、59百万円となりました。これは、主に退職給付引当金25百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて18%増加し、731百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて横ばいで推移し、1,938百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績に関しましては、堅調に推移しているため、平成20年7月14日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、新たに子会社となりました株式会社アート・スタジオ・サンライフおよび国際広告制作株式会社(株式会社アート・スタジオ・サンライフ子会社)を連結の範囲に含めております。

なお、変更後の連結子会社の数は4社であります。

(追加情報)

上記の新たな事実の発生に伴い、以下の新たな会計処理を採用しております。

①重要な資産の評価基準及び評価方法

a 有価証券

その他有価証券

(イ)時価のあるもの

連結決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

(ロ)時価のないもの

移動平均法による原価法

b たな卸資産

仕掛品

個別法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

②重要な引当金の計上基準

a 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当第1四半期連結会計期間に見合う分を計上しております。

b 退職給付引当金

従業員への退職給付に備えるため、自己都合要支給額を退職給付債務とする方法(簡便法)により、当四半期連結会計期間末における退職給付債務額を計上しております。

③のれんの償却に関する事項

5年間で均等償却しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

これによる、当第1四半期連結会計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	876,111	814,752
受取手形及び売掛金	727,805	733,867
仕掛品	36,494	—
繰延税金資産	5,272	10,511
その他	49,558	50,430
貸倒引当金	△4,836	△5,570
流動資産合計	1,690,405	1,603,990
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,314	13,314
減価償却累計額	△6,412	△6,052
建物(純額)	6,902	7,262
工具、器具及び備品	40,233	24,256
減価償却累計額	△26,395	△12,944
工具、器具及び備品(純額)	13,838	11,311
有形固定資産合計	20,740	18,573
無形固定資産		
のれん	809,170	800,000
ソフトウェア	97,830	100,753
その他	2,146	—
無形固定資産合計	909,148	900,753
投資その他の資産		
投資有価証券	3,737	—
敷金及び保証金	43,829	32,825
繰延税金資産	968	1,053
その他	1,510	1,301
投資その他の資産合計	50,045	35,180
固定資産合計	979,934	954,508
資産合計	2,670,339	2,558,498

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	393,339	399,515
短期借入金	44,000	—
1年内返済予定の長期借入金	6,996	—
未払費用	61,272	45,931
未払法人税等	33,589	97,755
未払消費税等	32,128	—
前受金	24,170	54,289
賞与引当金	7,212	—
その他	69,715	21,306
流動負債合計	672,425	618,798
固定負債		
長期借入金	9,102	—
退職給付引当金	25,924	—
繰延税金負債	13	—
その他	24,400	—
固定負債合計	59,439	—
負債合計	731,864	618,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,323	339,290
資本剰余金	470,323	470,290
利益剰余金	1,117,180	1,126,669
株主資本合計	1,926,826	1,936,249
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△241	—
為替換算調整勘定	△220	—
評価・換算差額等合計	△461	—
少数株主持分	12,110	3,450
純資産合計	1,938,475	1,939,700
負債純資産合計	2,670,339	2,558,498

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)
売上高	1,262,609
売上原価	966,915
売上総利益	295,693
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	201,375
営業利益	94,318
営業外収益	
受取利息	888
補償金収入	2,380
その他	2,324
営業外収益合計	5,594
営業外費用	
支払利息	221
その他	53
営業外費用合計	274
経常利益	99,637
特別利益	
貸倒引当金戻入額	734
特別利益合計	734
税金等調整前四半期純利益	100,372
法人税、住民税及び事業税	32,639
法人税等調整額	5,323
法人税等合計	37,963
少数株主損失(△)	△10
四半期純利益	62,418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年6月1日
至平成20年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	100,372
減価償却費	7,764
のれん償却額	45,595
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△734
退職給付引当金の増減額(△は減少)	592
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,121
受取利息及び受取配当金	△888
支払利息	221
売上債権の増減額(△は増加)	86,306
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,573
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,095
その他	26,030
小計	238,712
利息及び配当金の受取額	888
利息の支払額	△221
法人税等の支払額	△95,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,368
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△350
無形固定資産の取得による支出	△1,985
子会社株式の取得による支出	△59,943
その他	3,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,381
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,000
長期借入金の返済による支出	△1,166
株式の発行による収入	66
配当金の支払額	△54,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,978
現金及び現金同等物の期首残高	814,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	852,730

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当四半期連結会計年度(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

	SEM事業 (千円)	クリエイティブ事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,168,836	93,772	1,262,609	—	1,262,609
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	872	—	872	(872)	—
計	1,169,709	93,772	1,263,482	(872)	1,262,609
営業利益 (又は営業損失)	79,879	14,438	94,318	(—)	94,318

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主なサービス

(1) SEM事業・・・SEO、P4P、その他

(2) クリエイティブ事業・・・Webサイト制作、紙媒体制作

【所在地別セグメント情報】

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

該当事項はありません。

②仕入実績

当第1四半期連結会計期間における仕入実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	仕入高（千円）
SEM事業	826,510
クリエイティブ事業	-
合計	826,510

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高（千円）	受注残高（千円）
SEM事業	-	-
クリエイティブ事業	85,160	105,452
合計	85,160	105,452

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

④販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高（千円）
SEM事業	1,168,836
クリエイティブ事業	93,772
合計	1,262,609

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。